

平成18年10月10日

## サキグロタマツメタの卵囊に関する情報(第2報)

# 『まもなく稚貝が出てきます！(桂島)』

水産研究開発センター  
仙台地方振興事務所水産漁港部

本日、松島湾の桂島と東名でサキグロ卵囊調査を実施しました。卵囊内の観察結果から、東名では受精卵のみが確認され、近日中に産卵されたとみられる卵囊がほとんどでしたが、桂島では、孵出直前の後期幼生が多く見られました。

**一刻も早い駆除が必要です。**

卵囊1個からは数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。また、放置すればサキグロの温床となり、周辺のアサリ漁場へも深刻な被害を与えますので、孵出が始まる10月中旬明けまでには必ず駆除を実施して下さい。

干潟が干出していなくても、胴長を履き、玉網やヤスを用いれば、効率的に採集できます。また、透明度の良い時は船上からも採集が可能です。



▲ 匍匐する後期稚貝

採取場所	採取数	幼生のステージ(割合%)						孵出済み
		受精卵	前期幼生		中期幼生		後期幼生	
桂島	82	0	2.6	7.9	26.3	52.6	10.5	0
東名浜	11	100	0	0	0	0	0	0